

国営かんがい排水事業 <公共>

【令和2年度予算概算決定額 108,274 (110,530) 百万円】

【「臨時・特別の措置」を含む令和2年度予算概算決定額 110,143 百万円】 (令和元年度補正予算額 19,115百万円)

<対策のポイント>

農業生産の基礎となるダム、頭首工、用排水機場、幹線用排水路等の農業用排水施設の整備を行い、**農業用水の確保・安定供給**と**農地の排水改良**を図ります。

<政策目標>

- 機能保全計画に基づく適時適切な更新等を通じ、安定的な用水供給と良好な排水条件を確保
- 施設機能が安定している基幹的農業水利施設の割合 約5割以上 [令和2年度まで]

<事業の内容>

農業水利施設の整備・更新

かんがい排水事業は、農業生産の基礎となる水利条件を整備（農業用水の確保、農業用水の適期・適量供給、排水改良）し、水利用の安定と合理化を図るものです。国営かんがい排水事業においては、基幹的な農業水利施設の整備・更新を行っています。

老朽化・機能向上対策と豪雨災害対策を一体的に実施する「豪雨災害対策一体型かんがい排水事業」を創設します。

※下線部は拡充内容

1. 一般型

地域に適した水利・排水システムの確立のために行う農業用排水施設の新設または再編整備

【実施要件】受益面積3,000ha以上、末端支配面積500ha以上 等

2. 特別型

- ・高収益作物の導入・転換に必要な畑地化・汎用化を行うための整備
- ・担い手への農地集積を目的とした水利システムの再編を行うための整備
- ・不測の事態に対する応急対策及び施設機能の保全を行うための整備
- ・老朽化等による機能低下が見られる施設の集約・再編を伴う整備

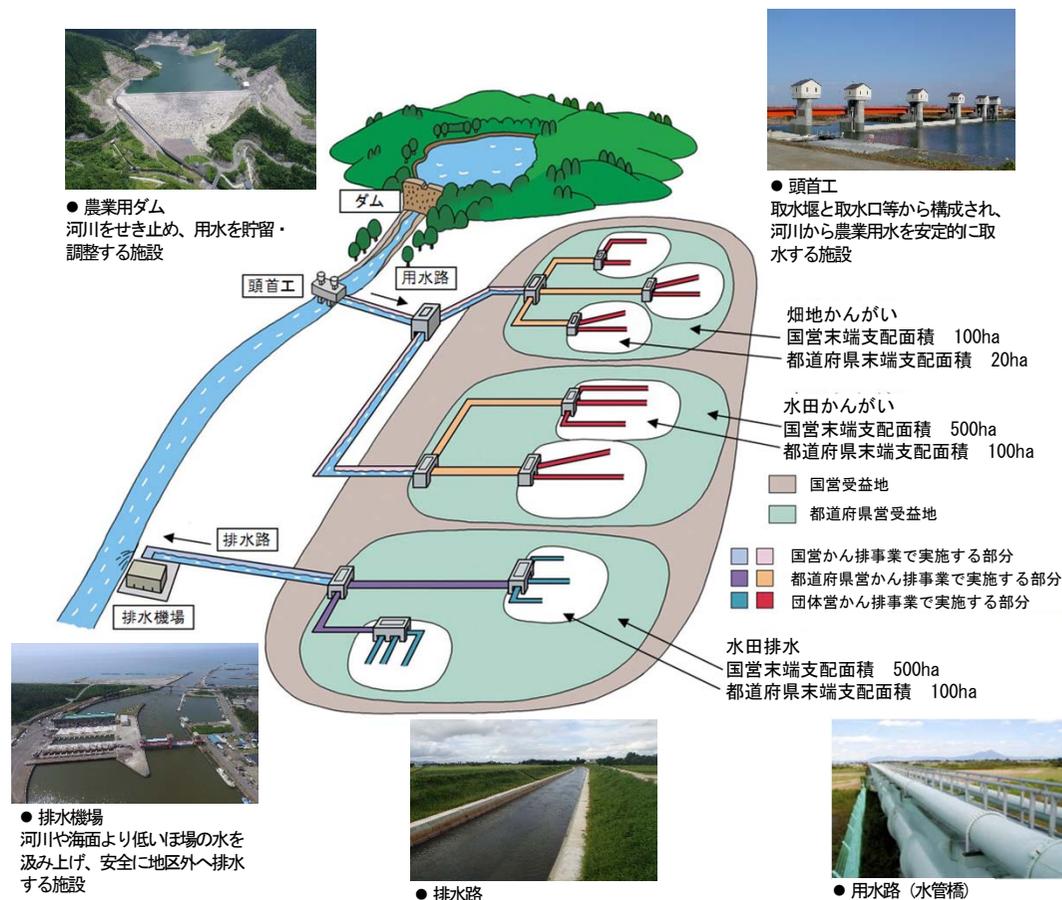
【実施要件】受益面積500ha以上、末端支配面積500ha以上 等

(国費率：農林水産省 2/3、北海道・離島 75%、沖縄・奄美 90% 等)

<事業実施主体>

国

<事業イメージ>

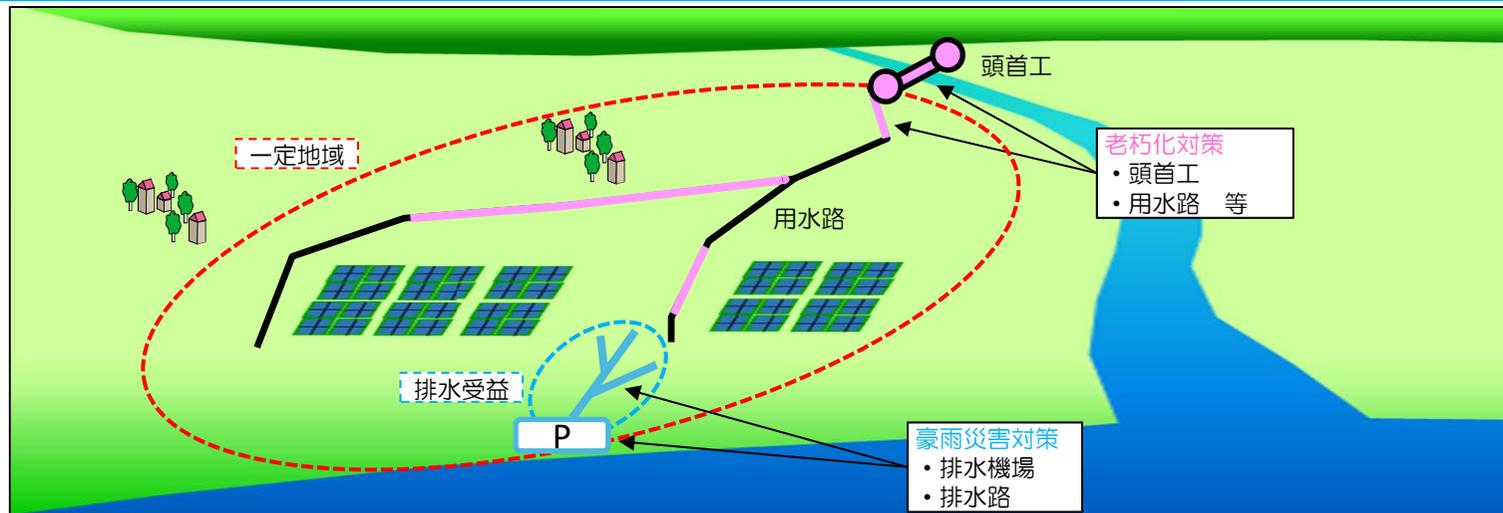


【お問い合わせ先】 農村振興局水資源課 (03-6744-2206)

国営かんがい排水事業（拡充）

～豪雨災害対策一体型かんがい排水事業の追加～

- 近年では、日降水量100mm以上の年間日数が増加傾向にあり、豪雨となる頻度が増加傾向。
- 農業水利施設の整備に当たり、近年多発する豪雨に対応するため、計画基準降雨の見直しに合わせた排水能力の強化を図ることにより、農業生産性の維持・向上と地域の防災・減災力の向上を一体的に推進。



老朽化・機能向上対策と豪雨対策を予算・事業計画の面から一体的に実施

老朽化・機能向上対策

- 内容
 - ・農業用水の確保や安定供給、農地からの排水を行うための農業用排水施設の 신설又は変更（老朽化対策や機能向上対策等）
- 対象施設
 - ・国営土地改良事業等により造成され、老朽化等による機能低下がみられる基幹的な農業水利施設



水路の補修状況



水路の補修後の状況

豪雨対策（豪雨災害対策一体型かんがい排水事業）

- 内容
 - ・近年の豪雨災害の発生に対応するための農業用排水施設の 신설又は変更（防災・減災対策等）
- 対象施設
 - ・豪雨による被害の発生により、**最大で1/30年確率降雨**までの整備水準が必要な排水機場、排水路等の基幹的な農業水利施設



排水路の拡幅



排水機場の整備